

平成24年度  
新潟県立大学

公開講座

参加費  
無料

# 阿賀野川 流域から 世界へ

水俣病の確認から半世紀がたちました。  
患者さんたちの苦しみは「解決」できませんが、公害病を風化させるのではなく、そこに学び、地域を見直す取り組みが若者たちにも広がっています。

阿賀野川のほとりにある新潟県立大学から、これまでの道のりを学び、他地域の動きや若い世代の活動を伝えることで、地域の方々に阿賀野川流域の魅力を再発見する機会を提供したいと思えます。

## 第1回 阿賀野川流域を知る

阿賀野川を河口から遡り、その周辺を見学しながら上流の鹿瀬を目指します。阿賀野川と地域の関係を再確認しましょう。

日時 | 平成24年10月7日(日) 9:00~16:30

集合・解散地 | 新潟県立大学正門

## 第2回 新潟で水俣学を継承する

水俣病とは何だったのか、この経験をどう伝え活かすべきなのかを新潟県立大学学生が熊本の水俣学を取材し報告します。

日時 | 平成24年10月27日(土) 13:30~16:00

会場 | 新潟県立大学 1313講義室

## 第3回 阿賀野川とその流域を語る

長年阿賀野川を見守ってきた方々をお招きし、河川と流域の関係を切り口に、阿賀野川と流域の新たな展望を語って頂きます。

日時 | 平成24年12月1日(土) 13:30~16:00

会場 | 新潟県立大学 新学生ホール2階

## 第4回 阿賀野川流域から発信する

阿賀野川流域からの発信のため、基礎となる新潟学=阿賀野川学を構想します。

日時 | 平成24年12月15日(土) 13:30~16:00

会場 | 新潟県立大学 新学生ホール2階

パネル展同時開催●各回の内容を紹介するパネルを展示します。10月1日(月)~12月21日(金) 新潟県立大学新学生ホール2階

主催/公立大学法人新潟県立大学 後援(申請中を含む)/新潟県、新潟市、新潟日报社、NHK新潟放送局、NPO法人新潟水辺の会

平成24年度新潟水俣病関連情報発信事業 環境省補助事業

# 阿賀野川流域から世界へ

## 第1回 阿賀野川流域を知る

バスツアー

日時／平成24年10月7日(日)  
9:00～16:30  
集合・解散地／新潟県立大学 正門  
新潟市東区海老ヶ瀬471番地  
(バス停「県立大学前」下車)



## 第2回 新潟で水俣学を継承する

日時／平成24年10月27日(土) 13:30～16:00  
会場／新潟県立大学1313講義室

※地図は第1回と同じ

学生発表者3名／水俣現地調査の報告  
特別講師／後藤岩奈(新潟県立大学国際地域学部教授)  
司会・コメンテータ／小谷一明(新潟県立大学国際地域学部准教授)

## 第3回 阿賀野川とその流域を語る

日時／平成24年12月1日(土) 13:30～16:00  
会場／新潟県立大学 新学生ホール2階

※地図は第1回と同じ

鼎談／大熊孝(新潟大学名誉教授・NPO法人新潟水辺の会代表)  
旗野秀人(安田町水俣病患者の会事務局)  
遠藤麻理(FM PORT「モーニングゲート」ナビゲーター)

## 第4回 阿賀野川流域から発信する

日時／平成24年12月15日(土) 13:30～16:00  
会場／新潟県立大学 新学生ホール2階

※地図は第1回と同じ

ゲスト／朴恵淑(三重大学副学長)  
あがのがわ環境学舎  
司会・ファシリテータ／田口一博(新潟県立大学国際地域学部准教授)  
李佳(新潟県立大学国際地域学部助教)

平成24年度新潟県立大学公開講座  
参加申込票

FAX025-270-5173 新潟県立大学 地域連携センター宛

切り取らずにFAXいただくか、電話(025-368-8373)またはe-mail(unpreco@unii.ac.jp)で必要事項をお知らせください。

① 希望日時・場所

阿賀野川流域を知る  
10月7日(日)  
■ 新潟県立大学正門集合

新潟で水俣学を継承する  
10月27日(土) ■ 新潟県立大学 1313講義室

当日保育を希望  
(保育希望 名・年齢 )

阿賀野川とその流域を語る  
12月1日(土) ■ 新潟県立大学 新学生ホール2階

阿賀野川流域から発信する  
12月15日(土) ■ 新潟県立大学 新学生ホール2階

当日保育を希望  
(保育希望 名・年齢 )

当日保育を希望  
(保育希望 名・年齢 )

ご希望の□に  
✓を入れて  
ください。

※当日保育については予約制とします。一週間前までにお申し込みください。(1歳以上、10名まで)

② 氏名または  
事業所名

(計 名)

③ 住 所

④ TEL